

愛汗大志



令和2年12月25日(金)
南城市立知念中学校
校長 垣花 英正



○公開授業

12月9日(水) 1校時、校内研究一人一授業の取組として、新垣誠先生が1年2組で数学科の授業を公開しました。

「身のまわりの問題を比例のグラフを利用して解決することができる」がねらいです。

生徒はプリントや電子黒板に提示された課題を確認し、自力解決を図ります。その次にグループで話し合い、話し合った内容を発表するという流れでした。

生徒達は活発に話し合い、図やグラフも描き、堂々と発表しました。問題を解決するには、計算するよりも、グラフを利用した方が速い場合があることを学びました。



○愛汗デー

12月14日(月)、愛汗デーとして年末の大掃除を実施しました。

雑巾、新聞紙を使い、窓のレールや高い部分、ロッカーを磨き、たわしやデッキブラシ、スポンジなどを使って床や廊下を磨きました。また、脚立に乗って蛍光灯を交換する様子も見られました。



○花の苗植え付け

12月8日(火)、環境教育の日の一環として、3年生がプランターや花壇に花の苗を植えました。花が成長し、卒業式の頃には満開になっているといいですね。



○ダンス!

12月22日(火)～24日(木)の三日間、体育の授業としてダンスの学習を行いました。

文化庁が主催する「文化芸術による子供育成事業」の中の「子供たちの創造性やコミュニケーション能力を育むダンス体験学校訪問」を活用し、県外からダンスのアーティストを講師としてお招きして学習しました。体育科の國吉勇多先生がこの事業に応募し、知念中が選ばれ実現したものです。

生徒達は、行進したり寝転がったり、足を上げたり隣の人の動きを真似たりなど、コミュニケーションを取りながら動きを覚えていきました。最後は一つの作品として、全員で動きを披露しました。

授業終了後、屋比久あゆ雅さんは「三日間私達にダンスを教えてくれてありがとうございました。最初はダンス?と思っていたけど、最後はとても良い作品ができていたのでびっくりしました。コロナで楽しいことがあまり無かったけど、いい経験ができて良かったです」とお礼の言葉を述べました。また、講師も「子供たちが素直でよく動いてくれたのでいい作品ができました」と褒めてくれました。



○二学期もお世話になりました

本日で二学期が無事終了しました。今年度は本来行われるはずの多くの学校行事、体験学習などが中止となり残念でしたが、そのような中で行われた知念ピックやPTA作業等の際は、保護者や地域の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。良いお年をお迎えください。

